モジュラ サーバの管理

このパートの構成は、次のとおりです。

- モジュラ サーバ管理，1 ページ
- モジュラ サーバのブート，2 ページ
- サーバのシャットダウン，4 ページ
- サーバのリセット，5 ページ
- サーバの再確認，6 ページ
- サーバからのインバンド設定の削除，6 ページ
- サーバの稼働停止，7 ページ
- サーバの再稼動，8 ページ
- サーバのロケータ LED のオン/オフ切り替え，8 ページ
- サーバの CMOS のリセット，8 ページ
- サーバの CIMC のリセット，9 ページ
- サーバの POST 結果の表示，10 ページ
- サーバからの NMI の発行，10 ページ
- ヘルス LED アラーム，11 ページ
- ヘルス LED アラームの表示，11 ページ

モジュラ サーバ管理

Cisco UCS M シリーズで導入されたモジュラ サーバは、コンピュート カートリッジに格納されています。

（注） カートリッジからサーバを削除することはできません。

モジュラ サーバのブート

サーバのブート

[Actions] 領域で [Boot Server] リンクがグレー表示されている場合は、まず、サーバをシャットダウンする必要があります。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis *Number]* > [Cartridges] > [Cartridge *Number]* > [Servers] を展開します。

ステップ 3 ブートするサーバを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域の [Boot Server] をクリックします。

ステップ 6 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

サーバがブートした後は、[General] タブの [Overall Status] フィールドに [OK] ステータスが表示されます。

サービス プロファイルからのサーバのブート

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Servers] タブをクリックします。

ステップ 2 [Servers] タブで、[Servers] > [Service Profiles] を展開します。

ステップ 3 サービス プロファイルを作成する組織のノードを展開します。
システムにマルチテナント機能が備えられていない場合は、[root] ノードを展開します。

ステップ 4 関連付けられたサーバをブートする必要があるサービス プロファイルを選択します。

ステップ 5 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 6 [Actions] 領域の [Boot Server] をクリックします。

ステップ 7 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

ステップ 8 [Boot Server] ダイアログボックスで [OK] をクリックします。
サーバがブートした後は、[General] タブの [Overall Status] フィールドに [ok] ステータスまたは [up] ステータスが表示されます。

サーバのブート順序の決定

ヒント サーバに関連付けられているサービス プロファイルの [General] タブからもブート順序タブを表示できます。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis *Number]* > [Cartridges] > [Cartridge *Number]* > [Servers] を展開します。

ステップ 3 ブート順序を決定するサーバをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Boot Order Details] 領域が展開されていない場合は、見出しの右側の [Expand] アイコンをクリックします。

ステップ 6 サーバに割り当てられているブート順序を表示するには、[Configured Boot Order] タブをクリックします。

ステップ 7 物理サーバ構成内のさまざまなデバイスから何がブートされるかを表示するには、[Actual Boot Order] タブをクリックします。

（注） [Actual Boot Order] では、[Internal EFI Shell] は常にブート順リストの最下部に表示されます。

サーバのシャットダウン

サーバのシャットダウン

この手順を使用して、インストールされているオペレーティング システムによりサーバをシャットダウンする場合、Cisco UCS Manager により、この OS のグレースフル シャットダウン シーケンスがトリガーされます。

[Actions] 領域の [Shutdown Server] リンクがグレー表示されている場合、そのサーバは動作していません。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis *Number]* > [Cartridges] > [Cartridge *Number]* > [Servers] を展開します。

ステップ 3 シャットダウンするサーバを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で、[Shutdown Server] をクリックします。

ステップ 6 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

サーバが正常にシャットダウンされると、[General] タブの [Overall Status] フィールドに電源オフ状態が表示されます。

サービス プロファイルからのサーバのシャットダウン

この手順を使用して、インストールされているオペレーティング システムによりサーバをシャットダウンする場合、Cisco UCS Manager により、この OS のグレースフル シャットダウン シーケンスがトリガーされます。

[Actions] 領域の [Shutdown Server] リンクがグレー表示されている場合、そのサーバは動作していません。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Servers] タブをクリックします。

ステップ 2 [Servers] タブで、[Servers] > [Service Profiles] を展開します。

ステップ 3 サービス プロファイルを作成する組織のノードを展開します。
システムにマルチテナント機能が備えられていない場合は、[root] ノードを展開します。

ステップ 4 関連付けられたサーバをシャットダウンする必要があるサービス プロファイルを選択します。

ステップ 5 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 6 [Actions] 領域で、[Shutdown Server] をクリックします。

ステップ 7 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

サーバが正常にシャットダウンされると、[General] タブの [Overall Status] フィールドにダウン ステータスまたは電源オフ状態が表示されます。

サーバのリセット

サーバをリセットすると、Cisco UCS Manager により、リセット ライン上にパルスが送信されます。 オペレーティング システムのグレースフル シャットダウンを選択することができます。 オペレーティングシステムでグレースフルシャットダウンがサポートされていない場合、サーバ電源の再投入が行われます。 Cisco UCS Manager に、サーバをリセットする前にすべての管理操作を完了させるオプションでは、これらの操作がサーバのリセット前に完了するかどうかは保証されていません。

（注） 電源切断状態からサーバをブートする場合は、[リセット] を使用しないでください。

この手順を使用して電源投入を続けると、サーバの望ましい電源状態が実際の電源状態と同期しなくなり、サーバが後で予期せずシャットダウンすることがあります。 選択したサーバを電源切断状態から安全にリブートするには、[キャンセル]をクリックし、[ブートサーバ]アクションを選択します。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis *Number]* > [Cartridges] > [Cartridge *Number]* > [Servers] を展開します。

ステップ 3 リセットするサーバを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で [Reset] をクリックします。

ステップ 6 [Reset Server] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。

a) [Power Cycle] オプションをクリックします。

b) （任意） Cisco UCS Manager に、このサーバで保留中のすべての管理操作を完了させる場合は、チェックボックスをオンにします。

c) [OK] をクリックします。

リセットが完了するまでに数分かかる場合があります。 サーバがリセットされると、[General] タブの [Overall Status] フィールドに OK ステータスが表示されます。

サーバの再確認

Cisco UCS Manager にサーバ、およびそのサーバのすべてのエンドポイントを再検出させる必要がある場合は、次の手順を実行します。 たとえば、サーバがディスカバリ状態など、予期していなかった状態から抜け出せなくなっている場合に、この手順を使用します。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis *Number]* > [Cartridges] > [Cartridge *Number]* > [Servers] を展開します。

ステップ 3 再確認するサーバを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域の [Server Maintenance] をクリックします。

ステップ 6 [Maintenance] ダイアログボックスで、[Re-acknowledge] をクリックし、次に [OK] をクリックします。

Cisco UCS Manager はサーバを接続解除してから、サーバとシステム内の 1 つまたは複数のファブリックインターコネクトとの接続を確立します。 確認が終了するまでに数分かかる場合があります。 サーバが確認されると、[General] タブの [Overall Status] フィールドに OK ステータスが表示されます。

サーバからのインバンド設定の削除

この手順では、サーバからインバンド管理 IP アドレスの設定を削除します。 このアクションがグレー表示されている場合、インバンド設定は完了していません。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis *Number]* > [Cartridges] > [Cartridge *Number]* > [Servers] を展開します。

ステップ 3 インバンド管理 IP 設定を削除するサーバを選択します。

ステップ 4 [Work] 領域の [Inventory] タブをクリックします。

ステップ 5 [CIMC] サブタブをクリックします。

ステップ 6 [Actions] 領域で、[Delete Inband Configuration] をクリックします。

ステップ 7 [Delete] の確認ダイアログボックスで [Yes] をクリックします。
サーバのインバンド設定が削除されます。

（注） Cisco UCS Manager でインバンド サービス プロファイルがデフォルト VLAN とプール名で設定されている場合、ここでインバンド設定を削除した約 1 分後、サーバ CIMC が自動的にインバンド プロファイルからインバンド設定を取得します。

サーバの稼働停止

サーバを一時的に UCSM 構成から削除するには、サーバの稼働停止を行います。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis *Number]* > [Cartridges] > [Cartridge *Number]* > [Servers] を展開します。

ステップ 3 稼働を停止するサーバを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で、[Server Maintenance] をクリックします。

ステップ 6 [Maintenance] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。

a) [Decommission] をクリックします。

b) [OK] をクリックします。

サーバが Cisco UCS構成から削除されます。

次の作業

サーバを物理的に取り付けなおす場合は、スロットを再認識して、Cisco UCS Manager にこのサーバを再検出させる必要があります。

サーバの再稼動

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで [Chassis] ノードをクリックします。

ステップ 3 [Work] ペインで [Decommissioned] タブをクリックします。

ステップ 4 再稼動する各サーバの行で、[Recommission] カラムのチェックボックスをオンにしてから、[Save Changes] をクリックします。

ステップ 5 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

ステップ 6 （任意） サーバの再稼動と検出の進行状況を、そのサーバの [FSM] タブでモニタします。

サーバのロケータ LED のオン/オフ切り替え

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis *Number]* > [Cartridges] > [Cartridge *Number]* > [Servers] を展開します。

ステップ 3 ロケータ LED のオン/オフを切り替えるサーバを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で、次のいずれかをクリックします。

- [Turn on Locator LED]：選択したサーバの LED を点灯します。
- [Turn on Locator LED]：選択したサーバの LED を消灯します。

サーバの CMOS のリセット

非常に珍しいケースですが、サーバのトラブルシューティング時に、CMOS のリセットが必要になることがあります。 この手順は、通常のサーバ メンテナンスには含まれません。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis *Number]* > [Cartridges] > [Cartridge *Number]* > [Servers] を展開します。

ステップ 3 CMOS をリセットするサーバを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域の [Recover Server] をクリックします。

ステップ 6 [Recover Server] ダイアログボックスで、[Reset CMOS] をクリックし、[OK] をクリックします。

サーバの CIMC のリセット

現在実行されているファームウェアで問題が発生した場合など、非常に珍しいケースですが、サーバのトラブルシューティング時に、CIMC のリセットが必要になることがあります。 この手順は、通常のサーバ メンテナンスには含まれません。 CIMC のリセット後、サーバは、そのサーバで実行されているバージョンのファームウェアを使ってブートされます。

CIMC をリセットすると、CIMC がリブートするまでの間、Cisco UCS の電力モニタリング機能が短時間使用不能になります。 通常は 20 秒しかかかりませんが、その間にピーク電力制限を超える可能性があります。 非常に低い電力制限が設定された環境で、設定された電力制限を超えないようにするには、CIMC のリブートまたはアクティブ化を交互に実施することを検討してください。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis *Number]* > [Cartridges] > [Cartridge *Number]* > [Servers] を展開します。

ステップ 3 CIMC をリセットするサーバを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域の [Recover Server] をクリックします。

ステップ 6 [Recover Server] ダイアログボックスで、[Reset CIMC (Server Controller)] をクリックし、[OK] をクリックします。

サーバの POST 結果の表示

サーバの電源投入時自己診断テスト中に収集されたすべてのエラーを表示できます。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis *Number]* > [Cartridges] > [Cartridge *Number]* > [Servers] を展開します。

ステップ 3 POST の結果を表示するサーバを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で [View POST Results] をクリックします。
[POST Results] ダイアログボックスに、サーバの POST 結果が一覧表示されます。

ステップ 6 [OK] をクリックして [POST Results] ダイアログボックスを閉じます。

サーバからの NMI の発行

システムが応答しないままになっており、Cisco UCS Manager で、CIMC から Non Maskable Interrupt（NMI）を BIOS またはオペレーティング システムに発行する必要がある場合は、次の手順を実行します。このアクションにより、サーバにインストールされているオペレーティング システム応じて、コア ダンプまたはスタック トレースが作成されます。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis *Number]* > [Cartridges] > [Cartridge *Number]* > [Servers] を展開します。

ステップ 3 NMI の発行元サーバを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域の [Server Maintenance] をクリックします。

ステップ 6 [Maintenance] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。

a) [Diagnostic Interrupt] をクリックします。

b) [OK] をクリックします。

Cisco UCS Manager は BIOS またはオペレーティング システムに NMI を送信します。

ヘルス LED アラーム

サーバ ヘルス LED は、各 Cisco UCS UCS M シリーズ サーバの前面にあります。 Cisco UCS Manager ではセンサー故障が発生すると、サーバ ヘルス LED の色がグリーンからオレンジ、またはオレンジの点滅に変わります。

ヘルス LED アラームには次の情報が表示されます。

名前	説明
[Severity] カラム	アラームの重大度。 次のいずれかになります。 • [Critical]：ブレード ヘルス LED がオレンジで点滅します。 • [Minor]：ブレード ヘルス LED がオレンジに点灯します。
[Description] カラム	アラームの簡単な説明。
[Sensor ID] カラム	アラームをトリガーしたセンサーの ID。
[Sensor Name] カラム	アラームをトリガーしたセンサーの名前。

ヘルス LED アラームの表示

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis *Number]* > [Cartridges] > [Cartridge *Number]* > [Servers] を展開します。

ステップ 3 ヘルス LED アラームを表示する対象のサーバをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で、[View Health LED Alarms] をクリックします。
[View Health LED Alarms] ダイアログボックスに、選択したサーバのヘルス LED アラームが一覧表示されます。

ステップ 6 [OK] をクリックして、[View Health LED Alarms] ダイアログボックスを閉じます。